



写真3 (オス).



写真4 (メス).

まだ神戸市西部でも生息している可能性があり、報告のない明石市や三木市でもヒメボタルは生息している可能性がある。ヒメボタルのメスは後翅が退化して飛べないので、一度開発されてしまうと絶滅してしまう可能性がある。今後、新たな生息場所を見つけられるよう調査していきたい。

○参考文献

- 八木 剛, 2007. 兵庫県におけるヒメボタルの分布. 人と自然, No.18: 163 – 172.  
 久保彬葉・久保柚葉・久保嘉靖, 2023. 神戸市西区におけるヒメボタルの初報告. きべりはむし, 46 (1): 37 – 38.

(Akiha KUBO 神戸市立井吹台中学校)  
 (Yuzuha KUBO 神戸市立井吹の丘小学校)  
 (Yoshiyasu KUBO 神戸市西区)

兵庫県西宮市におけるクロコモンタママシの記録

里見太輔

クロコモンタママシ西日本亜種 (ヤノコモンタママシ) *Poecilnota variolosa yanoi* Kurosawa, 1963 は、秋田 (2019) によって東日本亜種 subsp. *chinensis* Théry, 1926 のジュニアシノニムとされている。

本種は、国内では北海道・本州に分布し (福富ほか, 2022), 兵庫県近隣では、京都府, 鳥取県, 岡山県から記録されている (水野ほか, 1994; 那須・吉村, 1994; 鳥取県, 2022; 武田ほか, 2024)。

県内の記録は、これまでに三田市の2箇所から報告されているが (森, 1979; 高橋, 1996; 中峰, 2011), 筆者はこれまでに記録のない西宮市で本種を採集しているため報告する。なお、標本の一部は兵庫県立人と自然の博物館にて保管される。



図 西宮市産クロコモンタママシ.

【採集記録】

2♂ 2♀, 兵庫県西宮市国見台, 1. VI. 2022, 筆者採集  
 1♂ 3♀, 西宮市同所, 11. VI. 2022, 筆者採集 (図)

本種の記録について、未発表ではあるが県北部でも採集例があり (櫛原, 2023), ホストであるヤマナラシ (ヤナギ科ヤマナラシ属) は県下に広く分布しているため、今後さらなる新産地の発見が期待される。

末筆ではあるが、本種の文献情報について教えてくださった大生唯統氏 (鳥取県), 末長晴輝氏 (岡山県) に心より御礼申し上げます。

○引用文献

- 秋田勝巳, 2019. 三重県産クロコモンタママシについて. 月刊むし, (575): 28-31.  
 櫛原俊嗣, 2023. ど素人タママシ屋によるタママシ語り 日本産タママシの魅力6 クロコモンタママシとフライシャーナガタママシ. 月刊むし, (537): 58.  
 高橋寿郎, 1996. 兵庫県のタママシ (1). きべりはむし, 26(1): 13-19.  
 武田寛生・山地 治・中野一成・武田雅生・末長晴輝,

2024. ヤマナラシから得たタマムシ科3種の記録.  
すずむし, (159): 7-8.

鳥取県, 2022. レッドデータブックとっとり第3  
版 2022, ([https://www.pref.tottori.lg.jp/  
secure/1308351/5insects087-171-press2.pdf](https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1308351/5insects087-171-press2.pdf)).

中峰 空, 2011. 兵庫県三田市でヤノコモンタマムシを  
採集. きべりはむし, 33(2): 24.

那須 敏・古村俊治, 1994. 岡山県で発見されたヤノコ  
モンタマムシ. 月刊むし, (281): 2-4.

福富宏和・山田 航・瑤寺 裕・尾園 暁, 2022. 森の宝石。  
タマムシハンドブック. 112pp. 文一総合出版, 東京.

森 博, 1979. ヤノコモンタマムシ発見の経緯. きべり  
はむし, 7(2): 31-32.

水野弘造・高橋 敏・大平廣士, 1994. 京都府産タマム  
シ科甲虫目録. 関西甲虫談話会資料, (8): 1-12.

(Daisuke SATOMI 兵庫県立人と自然の博物館)

## 兵庫県におけるセスジユミアシゴミムシダマシの記録

森 正人・大生唯統

セスジユミアシゴミムシダマシ *Promethis striatipennis* (Lewis, 1894) は, 日本では本州, 九州に分布する(秋田勝己・益本仁雄, 2016) が, 全国的に比較的希な種類と思われる。近畿地方の記録としては, 兵庫県(高橋寿郎, 1993)及び京都府(秋田・益本, 2016; 京都府, 2015)の情報しか確認できなかった。近畿地方以外の地域でも, 本種に関わる記録や情報は大変乏しい状況にある。

兵庫県内の記録は, 高橋寿郎(1993)による三原郡南淡町煙島の記録(1ex, 6-VII-1981, T.Takeda Leg)が唯一である。この引用文献として示された登日(1982)の内容や標本は確認できていないが, おそらく南淡町教育委員会(1982)「煙島の自然」のなかに書かれた情報と思われる。

筆者らは以下の通り兵庫県内で本種を採集しているので報告する。

1 ♂, 朝来市和田山町室尾, 6-IX-2021, 大生採集(写真1)

1 ♂, 養父市奈良尾, 14-VI-2024, 森採集(写真2)

朝来市の記録は, 夜間にネムノキの立ち枯れにいた個体を採集したもので, 一方, 養父市の記録はケヤマハンノキ立ち枯れの樹皮下に潜んでいる個体を日中採集したものである。

なお, 兵庫県北部に隣接する鳥取県の東部地域では, 丘陵地から平野部にかけての照葉樹林に遷移しつつある



写真1 セスジユミアシゴミムシダマシ♂(朝来市産).



写真2 同♂(養父市産).

二次林で比較的普通に確認されており, ナラ枯れで枯死した後, ハカワラタケがびっしりと生えたコナラの立ち枯れ上で夜間に確認できるほか, 灯火にも飛来する(大生, 2024, 投稿中)。本種の採集状況から, 主に日本海側の照葉樹林を中心に分布していたものが, ナラ枯れの拡大に伴い, これまで確認できなかった地域へ分布を拡大しているものと考えられる。

## ○引用文献

秋田勝己・益本仁雄, 2016. 日本産ゴミムシダマシ大図鑑. むし社: 302pp.

京都府, 2015. 京都府自然環境目録 2015. <https://www.pref.kyoto.jp/kankyō/mokuroku/index.html> (20240820 (参照))

大生唯統, 2024. 鳥取県におけるセスジユミアシゴミムシダマシの初記録と若干の生態知見について. ゆらぎあ, 42, (投稿中).

高橋寿郎, 1993. 兵庫県のゴミムシダマシ(6). Crude(38): 22-33.

(Masato MORI 環境科学大阪 株式会社)

(Yuito OHBAE 鳥取県鳥取市)